

---

# 孤独を愛する僕

ゆう

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

孤独を愛する僕

### 【ZPDF】

N1210E

### 【作者名】

ゆつ

### 【あらすじ】

自分で一体何者なんだろう。そんな思いを綴りました。

衣食住満ち足りた生活の中で

僕は小さな小さな部屋の中の沢山のガラクタに惑わされ振り回され  
生きてる

勝手に廻る廻るよ世界が

誰かが問う

「あなたは何者なんだ?名前は?..」

え?僕は

自分の名前すら憶えていないんですね(笑)

見たくないものも見てきた

こんな汚い世界で

何を信じればいいんですか

何を視ればいいと云うのですか

何も観たくない

いつそその眼をえぐりとく

何も感じたくない

いつそ心をもぎ取らう

そして血を流した時

僕は生きていることが身に染まるだらうか？

涙を流して流して流せば

いつかこの雲は雲り空を通り抜けて

空氣の無い苦しみの宇宙で散つて消えてくれるかもしない

いつも期待してる僕が居る

やさじこ君でもなく

流れゆく血でもなく

僕自身にね

ひたすら力を渴望する日々

だって力があつたならば

こんな悲しみの海の底へ沈みゆく」となどなかつたでしょ？

君に

いつまでも優しい温

満ち足りた歓びの向つにある深い深い夜を

共に

生きていたい

結局言いたい」とは

君と其処に存在出来れば僕はそれで良いから

どつか

どつか

かの間にあたってはだしき

(後書き)

短いですね……最後まで読んで頂きありがとうございました！！！  
！良かつたら感想や批評など頂けると嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1210e/>

---

孤独を愛する僕

2010年10月10日06時31分発行